

2015年8月10日

報道関係者・刊行物編集者各位



(公財) 山階鳥類研究所
〒270-1145 千葉県我孫子市高野山115
電話：04-7182-1101 FAX：04-7182-1106
<http://www.yamashina.or.jp>



JBF15 周年記念 鳥学講座スペシャル 開催のお知らせ

(公財) 山階鳥類研究所と我孫子市鳥の博物館では、ジャパン・バード・フェスティバル (JBF) 2015 (10月31日(土)・11月1日(日)、我孫子市内) にあわせ、第一線の研究者からわかりやすく研究の成果を紹介してもらい、恒例の「鳥学講座」を開催します。今年は JBF15 周年、また鳥学講座第 25 回の記念の年にあたりますので、例年のようにお一人の講師による講演で終わるのではなく、JBF の林良博実行委員長が聞き手となるトークショーを企画しました。貴媒体でご紹介いただけますようお願いいたします。

JBF15 周年記念 鳥学講座スペシャル トークショー 「研究最前線～今どうなってる？鳥と恐竜」

講師：真鍋真 (まなべ・まこと) 国立科学博物館グループ長

聞き手：林良博 (はやし・よしひろ)

JBF 実行委員長・(公財) 山階鳥類研究所 所長・国立科学博物館 館長

日時：平成 27 年 10 月 31 日 (土) 午後 13 時 30 分～15 時 30 分

(開場 13 時 00 分)

場所：アビスタ (我孫子市生涯学習センター) ホール (定員：120 名)

千葉県我孫子市若松 26-4

参加費：無料 (事前の申込みは要りません)

主催・問い合わせ：我孫子市鳥の博物館 (電話 04-7185-2212)、

(公財) 山階鳥類研究所 (広報担当 電話 04-7182-1101)

会場までの交通：JR 常磐線 我孫子駅南口からアビスタ・市役所経由のバスでアビスタ前下車すぐ。

国立科学博物館の真鍋真さんには、10年前、2005年にこの鳥学講座で「恐竜の進化と鳥類の起源」というタイトルで講演いただいています。その後、鳥類は恐竜の子孫だったという説へ

2015年8月10日

報道関係者・刊行物編集者各位

の反対の論拠となっていた大きな争点は恐竜起源説を裏付ける形で決着し、恐竜起源説は確固たるものになってきました。化石の保存状態が良ければ羽毛の色まで分かったり、メスの形態が特定できるようになったりするようになりました。しかし、化石が数多く見つかってみると、想像していなかったような化石が出てきたり、どこまでが恐竜でどこからを鳥類と呼ぶべきか、その境界線を引くことが難しくなってきたりしているようです。

当日は、自身も解剖学者として脊椎動物の形態に造詣の深い、林良博・JBF実行委員長が進行を担当し、前半で真鍋さんに講演をお願いしたあと、後半で会場からいただいた質問をもとに、林委員長と真鍋さんとのかけあいで、鳥類恐竜起源説のおおもとの基礎知識から、最前線の成果までを掘り下げてみたいと思います。

鳥学講座は「ジャパン・バード・フェスティバル2015」（10月31日（土）、11月1日（日））にあわせて開催します。

鳥学講座 （公財）山階鳥類研究所と我孫子市鳥の博物館が年に1回開催する講演会で、最前線で活動する研究者に研究内容を一般向けにわかりやすく紹介してもらうものです。平成4（1992）年の第1回から、今年で25回目を数えます。平成13（2001）年にはジャパン・バード・フェスティバル（JBF）が始まり、その年（第11回）からはJBFにあわせて開催しています。

ジャパン・バード・フェスティバル （公財）山階鳥類研究所と我孫子市鳥の博物館の地元、我孫子市で年に1回開催される鳥と環境保護のお祭りで、今回で15回目を迎えました。我孫子市、我孫子市教育委員会、（公財）山階鳥類研究所、日本鳥類保護連盟ほか、NPO、団体、企業等が参加する実行委員会（実行委員長：林良博・山階鳥類研究所所長）が主催しています。

【参考リンク】 ジャパン・バード・フェスティバル <http://www.birdfesta.net>

（公財）山階鳥類研究所 <http://www.yamashina.or.jp/> 我孫子市鳥の博物館 <http://www.bird-mus.abiko.chiba.jp/>

この件についてのお問い合わせ先

（公財）山階鳥類研究所 広報主任

平岡考

tel: 04-7182-1101

e-mail: koho@yamashina.or.jp